

「大阪都構想」ってなに？ の配布にあたって

大 阪 交 通 労 働 組 合

執行委員長 中 村 義 男

いま大阪の将来の姿を巡って論争が繰り広げられ、連日のようにマスコミに取り上げられるなど大きな話題になっています。口火を切ったのは前回の大阪府知事選挙で当選した橋下徹氏です。彼は東京都をならった「大阪都構想」を唱え、大阪市が政令指定都市として比較的大きな権限を持っていることから、「大阪都」に権限を一本化させ二重行政の解消などを行うと、大阪の経済の低迷や行政サービスに関する様々な問題が解決できる、としています。しかし、「大阪都」の具体的な筋道を府・市民に示すのではなく、かつて独裁者が国民を欺くために用いたような感情に訴える巧みな宣伝手法を使っているのです。

そのような橋下知事の主張は全く根拠のないものであることは、多くの識者から指摘されていますし、「大阪都構想」は、明治の昔から発展を続けてきた大阪市を解体させ、その資産を「大阪都」に吸い上げ、権力を集中させようとする意図が見えています。また、この構想の中には、大阪市交通事業の民営化も入れられており、大交組合員や家族のみなさんをはじめとする関係者に少なからぬ不安を与えています。

これに対して、大阪が真に経済的にも文化的にも発展することを強く希求する人々から、強い危惧の声が聞こえています。私たちは、大阪市の改革は大阪市の行政とそこに働く者、市民の力が一緒になって進めていくという、地道な努力が必要だと考えます。それは平松大阪市長の主張でもあります。

組合員のみなさんやご家族、そして大交の先輩のみなさんに、この冊子でできるだけ分かりやすく大阪都構想の本当の姿を知っていただき、将来の大阪の姿、大阪市のあり方を考える一助にさせていただきたいと思います。